

授業科目 スポーツ・実践（後期 ニュースポーツ）

【担当教員名】  埴 佐敏	対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・義肢・健栄・スポ・社会・看護・情報
	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
		◎	○	◎

【概要・一般目標：GI0】

1. スポーツ・健康の経験をもとに、生涯スポーツに向け自ら選択したスポーツに主体的に取り組む。
2. 医療・福祉・保健のQOL サポーターとしての資質向上を目指し、スポーツ実践を通してスポーツとのかかわり方や仲間との交流を図る。

【学習目標・行動目標：SBO】

1. 医療・福祉・健康のプロフェッショナルとして、自らのスポーツの必要性について理解する。
2. ソフトバドミントンの簡単な技能を身に付け、楽しくゲームが出来る。
3. 準備や後始末、ゲームをお互いに協力して行える。
4. なわ跳びの基礎的な技能を身に付け、短なわ跳びや長縄跳びを楽しめる。
5. ダブルダッチへの入り方・跳び方・出方について出来るようになる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	・オリエンテーション（グループング、授業の進め方）・準備や後始末	1	講義、実技
2	・ソフトバドミントンの基礎練習（サーブ、ラリー）・試しのゲーム	2,3	実技
3	・ソフトバドミントンの基礎練習（サーブ、ラリー）・リーグ戦1	2,3	実技
4	・ソフトバドミントンの基礎練習（サーブ、ラリー）・リーグ戦1	2,3	実技
5	・ソフトバドミントンの基礎練習（サーブ、ラリー）・リーグ戦2	2,3	実技
6	・ソフトバドミントンの基礎練習（サーブ、ラリー）・リーグ戦2	2,3	実技
7	・短縄遊び ・長縄とび	4	実技
8	・1回旋跳躍による短縄跳び ・長縄跳び	4	実技
9	・短なわを使った跳び方のいろいろ ・長縄跳び	4	実技
10	・短なわを使った跳び方のいろいろ ・長縄跳び	4	実技
11	・短なわを使った跳び方のいろいろ ・長縄跳び（ダブルダッチの入り方）	4,5	実技
12	・短なわを使った跳び方のいろいろ ・長縄跳び（ダブルダッチの入り方・跳び方）	4,5	実技
13	・短なわを使った跳び方のいろいろ ・長縄跳び（ダブルダッチの入り方・跳び方・出方）	4,5	実技
14	・短なわを使った跳び方のいろいろ ・長縄跳び（ダブルダッチの入り方・跳び方・出方）	4,5	実技
15	まとめ	1	講義、実技

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料				

【評価方法】	出席 学習態度 学習記録ノート	【履修上の留意点】 開講人数 20～40名 個人用の短縄があることが望ましい。
--------	-----------------	---